

SUPPORTER'S SELECTION

サポーターの皆さんのオススメ本です。本選びの参考にどうぞ♪

豊橋 有坂 涼葉さんオススメ



『源氏物語解剖図鑑』
佐藤晃子 著 伊藤ハムスター イラスト
(エクスナレッジ 2021)

豊図開架 913.36:Sa85

源氏物語がどんな内容か知りたいけど、全話読む気力や時間がないという方や、古典の知識がなくとも読んで行動が理解できるか不安という方におすすめの一冊。キャラクター同士の相関図や、当時の風習、源氏物語の構成において作者が施した工夫などが一巻ごとに本文とともに書いてあるため読みやすくなっている。また登場人物が犬と猫で描かれているので挿絵だけでも一度手にとってみていただきたい。



豊橋 福田 さくらさんオススメ



『ナミヤ雑貨店の奇蹟』
東野圭吾 著 (KADOKAWA 2014) [角川文庫]

豊図開架 913.6:H55

3人の若い強盗が古い廃店に一晚避難するが、店に届いた一通の手紙がすべてを変える。彼らは妄想しているのでしょうか、それとも本当に起こるのでしょうか？ 私たちが実際にアドバイスを求めるのは、アドバイスそのものを得るためではなく、自分が決めたいことが他の人が考えていることと同じである確信が欲しいだけであり、一つの決断が私たちの将来、周りの人々、互いの優しさなどにどのように影響するのかがわかる一冊です。



豊橋 中村 楓菜さんオススメ



『百貨の魔法』
村山早紀 著 (ポプラ社 2017)

豊図開架 913.6:Mu62

この本の舞台となっている星野百貨店は昔から白い猫が願いを叶えるという噂があり、この猫は金眼銀眼のオッドアイを持っており、自分もそんな願いを叶える猫を一目見てみたいと思いました。そして、百貨店で働いているエレベーターガールやコンシェルジュなどが登場人物として出てくるがみんな仕事に対して誠実であり、この本を読んでいるときすこく温かい気持ちになることができオススメの一冊です。



豊橋 長谷川 遥さんオススメ



『時をかける少女』
筒井康隆 著(新潮社 1983) (筒井康隆全集 第4巻)

名図開架 918.68:Ts93.4

私は、『時をかける少女』という物語にドラマで出会った。昔から作られているお話ですが自分にとって、とても感動的で印象に残ったので、今回をきっかけに読もうと思った。未来の人、一夫が過去にタイムリープをし過去の人、和子に恋をするお話だが、未来の人、一夫が恋愛よりも自分の時間を大切にしている現代の風潮の考え方をしており、よりお話が身近で感動的に感じた。



豊橋 斉藤 和奏さんオススメ



『はてしない物語 上』
エンデ 著 上田真而子、佐藤真理子訳 (エンデ全集4)

豊図開架 948:E59.4

読書と空想が好きな主人公・バスチアン。学校のクラスメートからのいじめ、母親の死別をきっかけに父親との間に生まれた溝、居場所を失っていた彼はある日、一軒の古本屋に逃げ込んだ。彼はそこで『はてしない物語』という風変わりな本に興味を抱く。お金を持たないバスチアンは店から本を盗み出し、忍び込んだ学校の物置で読み始めるのだった。バスチアンが繰り広げる、壮大で摩訶不思議な冒険譚！あなたも体験してみませんか？



豊橋 杉山 晴菜さんオススメ



『ツバキ文具店』
小川糸 著 (幻冬舎 2016)

豊図開架 913.6:024

気持ちを言葉にするのが苦手な人におすすめの本です。舞台は鎌倉にある小さな文房具屋『ツバキ文具店』。そこでは店主の雨宮鳩子、通称ポッちゃんの手紙の代書をお願いしています。手紙とは、紙や切手、ペン、そして字体にまで書き手の想いが宿るもの。作中に登場する手紙は実際に読むこともできます。依頼者が大切な人に伝えたい気持ちを、鳩子はどのように表現するのでしょうか。読んだ後、きっとあなたもペンを手取るはず。



豊橋 山本 一菜さんオススメ



『星屑』
村山由佳 著 (幻冬舎 2022)

豊図開架 913.6:Mu62

舞台は昭和の芸能界。風プロのマネージャー・桐絵は、2人の少女をスターにするべく奮闘します。正反対で喧嘩ばかりの2人、出生の秘密、スカンダル…彼女たちの前に立ちちはだかる壁たち。しかし決して諦めることは無く、その中で桐絵や少女たちは葛藤し、成長していきます。そしてその先にある景色とは。怒濤の展開に目が離せない、少女たちのシンデレラストーリーです。少女たちの成長過程に思わず胸が熱くなります。



豊橋 森 智恵美さんオススメ



『ギルガメシュ叙事詩』
月本昭男 (訳) (岩波書店 1996)

豊図開架 929.711:Ts63

私が紹介する本はギルガメシュ叙事詩です。ギルガメシュはメソポタミア文明におけるシュメル王朝の都市国家ウルクを納めていた王です。ギルガメシュはゲームや漫画などにオマージュキャラが登場するなど人気があります。このお話は暴君ギルガメシュがエンキドゥという人造人間と友誼を結び冒険をし、エンキドゥの死をきっかけに不死を求める王の話です。



豊橋 佐々木 森凧さんオススメ



『汝、星のごとく』
凧良ゆう 著 (講談社 2022)

豊図開架 913.6:N26

瀬戸内の島で暮らす高校生の焼海と自由な母親の恋愛に振り回されて島の高校へ転校してきた凧。娯楽が少なくうわさが盛んな島で、それぞれ複雑な家庭環境にある二人はそれぞれを通してすれ違いながらも成長していきます。お互いの進学、就職。それを経て二人の関係はどうなるのか。細やかな日常の描写に紛れ込む小さな出来事と二人を取り巻く環境の変化が二人をどう変えたのか。ぜひ、楽しんで読んでください。



豊橋 長澤 舞衣子さんオススメ



『蜜蜂と遠雷』
恩田陸 著 (幻冬舎 2016)

豊図開架 913.6:065

私のおすすめ図書は恩田陸さんの蜜蜂と遠雷です。この作品は4人の若きピアニストが芳ヶ江国際ピアノコンクールを巡って奮闘する物語です。このコンクールで最優秀賞を受賞することで世界的な名ピアニストになれるというジグゾーのもと頑張り姿は私まで頑張ろうと思えてきます。青春と音楽の融合を楽しみたいと思っている人にはお勧めの一冊です。





那須田 流菜さんオススメ



『なれのはて』
加藤シゲアキ 著（講談社 2023）
名図開架 913.6:Ka86

たった一枚の絵だけで展覧会を行うことを試みる主人公とその同僚。しかし肝心のその絵は作者も権利継承者も不明であり、唯一の手掛かりは絵の裏に書かれた「イサム・イノマタ」の署名のみ。果たして彼らは無事に展覧会を行うことができるのか？一枚の絵を巡って過去と未来を行き来しながら物語が進んでいくミステリー小説です。このタイトル以上にこの本の内容を表せるものは無いと思います。是非読んでみてください。



西村 咲良さんオススメ



『容疑者Xの献身』
東野圭吾 著（文藝春秋 2005）
名図開架 913.6:H55

容疑者Xの献身は天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた高校教師の石神が一人娘と暮らす隣人の端子に秘かな想いを寄せていた。彼女たちが前夫を殺害したことを知った彼は、二人を救うため完全犯罪を企てるが皮肉にも、石神のかつての親友である物理学者の湯川学が、その謎に挑むことになるという物語です。映画やドラマなどガリレオシリーズで有名ですが映画とは違った雰囲気や細かい描写があるのでぜひ読んでみてください。



山本 詩さんオススメ



『カラフル』
森絵都 著（文藝春秋 2007）
名図開架 913.6:Mo45

人生をやり直すチャンスを与えられた1人の魂の物語です。突然「死んでいた」ことを告げられた主人公は、「輪廻の外れた存在」として、ある少年の体を借りて再び地上に戻ります。条件は「再び死んでしまった理由を思い出すこと」。少しずつ明らかになる秘密と、再生の過程が描かれるこの物語は、心温まるヒューマンドラマです。生きる意味を再考し、鮮やかな感情が溢れる世界に読者を引き込む『カラフル』。笑いと涙が交錯する物語に、あなたもきっと共感するはずです。



サップタウィーボンオーンニダーさんオススメ



『マンゴー通り、ときどきさよなら』
サンドラ・シスネロス 著 くらたのぞみ 訳（白水社 2018）
名図開架 933:C73

主人公はプエルトリコやメキシコ人で、アメリカに移動します。アメリカは多様性が多くて、どんな国籍でもアメリカに住んでいると信じられています。しかし、そのようなことが幻想だったら、アメリカに移動した少数民族はどうすればいいですか。この本はフェミニズムや多様性やアイデンティティや少数民族の人生が発表されます。「マンゴー通り、ときどきさよなら」を読んだら、エスペランサが皆さんにアイデンティティを探ることについて知られます。この文学は英語バージョンの言語はあまり難しくないから、英語の小説を読んで練習したい人におすすめです。そして、各章は短くて、全ての内容も大切です。読みやすいです。おすすめです！



綾口 広大さんオススメ



『百年の孤独』
G・ガルシア・マルケス 著 鼓直訳（新潮社 2024）
名図文庫 963:G21

マジックリアリズムの旗手、G・ガルシア・マルケスの代表作です。私にとって、この本を読んでいる時間は、すごく幸福なひと時でした。描かれている世界は実にマジカルで、目もくらむような不思議な出来事の連続です。それでもこの世界に浸っていたいと感じるのはなぜなのでしょう。およそ現実からは程遠い虚構の世界を、あたかも目前で起こっているかのようにありありと描くガルシア・マルケスの妙技に答えはあります。



石原 東生子さんオススメ



『20代にしておきたい17のこと』
本田健 著（大和書房 2010）
名図開架 159:H84

20代、あなたは何をしたいですか？ 仕事？ 恋愛？ それとも...？
この本は、そんな20代に向けた、人生の羅針盤のような一冊。「人生最大の失敗をする」「死ぬほどの恋をする」など、一見大胆な17のメッセージが、あなたの心に火をつけ、新しい一歩を踏み出す勇気をくれるはずです。著者である本田健さんの言葉は、どこか温かく、読んでいるうちに自分自身と向き合える貴重な時間になるでしょう。20代という特別な時間を、もっと豊かに彩りたいあなたへ。



黒柳 諒介さんオススメ



『世にも奇妙な君物語』
朝井リョウ 著（講談社 2018）
名図開架 913.6:A83

異様な世界観や複数の伏線、先の読めない展開、最後まで分からない想像を超えた結末とそれに続く恐怖。もしこれらが好きなら、あなたはこの物語にはまると思います。この小説はドラマ化されているように人気もあり、また、わかりやすい表現が使われているため、普段、本をあまり読まない方やこれから読書を楽しもうと思っている方にとっておすすめです。



松井 那菜さんオススメ

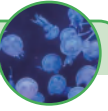


『ライオンのおやつ』
小川糸 著（ポプラ社 2023）
ライブラリエ

死を得体の知れない恐怖と感じている人の方が、圧倒的に多いと思います。その中で、小川糸のライオンのおやつは、「死を迎えることは、決して恐ろしいことではないのだよ」と優しく伝えてくれる物語です。また、私たちの人生にアドバイスをくれ、一日一日を大事に、きちんと生きることの大切さを教えてくれます。「さちそうさまでした」でしめくくれる人生にしたいみなさん是非読んでほしい作品です！



石崎 真羽さんオススメ



『氷菓』
米澤穂信 著（角川書店 2001）
名図開架 913.6:Y84

岐阜県出身の作家、米澤穂信の小説。古典部の部員4人を中心に、日常に起こる不可解な出来事や謎を解明していく青春ミステリー作品。部員の1人であり、省エネがモットーである主人公、折木奉太郎が、同じく古典部員であり好奇心旺盛な少女、千反田えるのペースに巻き込まれながら、日常の謎に挑んでいく。この作品は岐阜県高山市が舞台になっており、主人公らの通う神山高校も、高山市にある斐太高校がモデルとなっている。アニメ版では岐阜県出身の人に見覚えのある風景がたくさん見られるのではないだろうか。岐阜県出身の人は小説とアニメ両方で楽しめるおすすめの作品である。



吉田 朋玄さんオススメ



『五能線の女』
西村京太郎 著（新潮社 2008）
名図文庫913.6:N84

東北の美しい自然を走る五能線のリゾートしらかみ号に関するミステリー小説です。リゾートしらかみ号で旅行をしようとした私立探偵が容疑者にされてしまう事件やその後起きた複数の事件に十津川警部が挑みます。リゾートしらかみ号のダイヤを使った犯行計画や十津川警部と亀井刑事による事件が起きた時の容疑者と同じように行動したり、その時の行動を何度も詳しく想像し検証する地道な捜査や他の刑事たちとの連携に注目です。